

## NIPT検査を希望される方へ

横浜労災病院産婦人科では、NIPT（非侵襲性出生前遺伝学的検査）を実施しています。

検査の詳細については「出生前診断の提供等に係る体制の構築に関する研究」による説明用紙を参照してください。

また、当院での検査の流れについては、この説明用紙を確認して下さい。

### ○対象者

対象者は、横浜労災病院で分娩を予定されている方です。

その中でも特に

- ・ 高年齢の方
- ・ 母体血清マーカー検査で、胎児が染色体数的異常を有する可能性を示唆された方
- ・ 染色体数的異常を有する児を妊娠した既往のある方
- ・ 両親のいずれかが均衡型ロバートソン転座有していて、胎児が13トリソミーまたは21トリソミーとなる可能性を示唆される方
- ・ 胎児超音波検査で、胎児が染色体数的異常を有する可能性を示唆された方を対象としています。

ただし、適切な遺伝カウンセリングを受けても不安が解消されない方は、上記に当てはまらなくても検査を受けることができます。

### ○対象疾患

21トリソミー、18トリソミー、13トリソミーです。

性別や微小欠失などは、検査の科学的根拠が確立していないため対象外です。

## ○検査の流れ

検査を受けるには、月曜日の午後のNIPT遺伝カウンセリング外来の受診が必要です。

検査を受けなくても、NIPTの外来を受診すると1万円の支払いが発生します。基本的には夫婦お二人で受診して頂きます。

妊娠10週以降に月曜日の午後のNIPT遺伝カウンセリング外来を夫婦お二人で受診して、検査を希望する場合にはその日にNIPTの採血をします。

検査や、検査の説明を希望される方は、妊婦健診時に担当医に申し出て、月曜日の午後のNIPTの外来予約を取って下さい。

横浜労災病院で分娩予定だが他院で健診中の方は、平日14-17時の間に産婦人科外来に電話して、月曜日の午後のNIPT遺伝カウンセリング外来の予約をとって下さい。

(電話番号 045-474-8111)

電話では、予約はお取りしますが、検査の内容や診療に関する説明は出来ません。

NIPT外来の予約をキャンセルする場合には、必ず産婦人科外来に電話で連絡をして下さい。

NIPT外来の予約日の変更には、受診が必要です（電話では承っていません）。平日11時までに予約外で受診して、医師と直接相談して予約を取り直して下さい。

妊娠10週以降に月曜日の午後のNIPT遺伝カウンセリング外来に夫婦で受診して頂き、検査を希望する場合にはその日にNIPTの採血をします。

結果が出るのに2週間程度かかります。

NIPTに関する遺伝カウンセリングや検査結果に関するデータは、個人情報を含まない形で出生前検査認証制度等運営委員会に定期的に提供されます。

## ○結果について

### ①NIPT陰性の場合

陰性の場合には電話連絡はありません。

予約をして、結果を聞きに来て頂きます。簡易的な説明でよい場合には、当院での妊婦健診時に結果を聞くことも可能です。

### ②NIPT陽性の場合

陽性の場合には電話連絡をします。

陽性の場合には、基幹病院（横浜市立大学附属市民総合医療センターの遺伝子診療科）でカウンセリングを受け、羊水検査などの確定検査を受けるかご夫婦で考えて頂きます。

そのため、市大センター病院の受診希望日を電話でお聞きします。第一希望・第二希望をお聞きして、こちらから市大センター病院に伝えます。市大センター病院から電話があるので、そこで予約を確定して下さい。紹介状は、当院から市大センター病院に直接郵送します。

市大センター病院の受診前に当院を受診したい場合には申し出て下さい。羊水検査などの確定検査を、基幹病院である市大センター病院で受けることができます。羊水検査は当院でも実施可能です。

その後の妊娠経過に関しては、妊娠の継続・中断に関わらず、当院で対応いたします。

## ○費用について

費用は遺伝カウンセリングが約1万円、NIPT検査が約9万円です。つまり、NIPT検査をする場合には、合計で約10万円かかります。

陽性だった場合は、横浜市立大学附属市民総合医療センターの初診料・遺伝カウンセリング料が約17000円かかります。

当院で羊水検査を受ける場合には、羊水検査の検査費用はNIPT代金に含まれます。しかし、羊水検査のための入院費や手技料などは別途かかります（約11万円）。センター病院で羊水検査を受けた場合も、その支払いは横浜労災病院にして頂きます。

妊娠の中断を選択する場合には、その内容に応じて費用が発生します。

上記については、変更になることがあるのでご了承下さい。

2022.11.7 横浜労災病院産婦人科 NIPT責任者 大井由佳